

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

おかげさまで弊財団は着実に活動を進めることができました。

新型コロナウイルスの蔓延で多くの感染者の発生と著しい経済の落ち込みで厳しい状況になっています。個人や一企業の努力だけでは対応できないような未曾有な危機（災害）であり、早期の撲滅を期して国民全員が一致団結して政府を支えながら新型コロナウイルスに対決していく必要があります。

感染症は神代の昔から疫病として恐れられていたものであり、日頃からの準備が不足していたことを大いに反省する必要があります。約100年前のスペイン風邪、数年前のSARS等流行の教訓を生かし切れていなかったことも反省の材料です。

日本人が団結して感染症に立ち向かうためには、災害対応に関する知識と経験を有する人材の活用が大切であり、特に、自衛隊OB、消防OBや地元の消防団員の力を結集する必要が有ると考えています。また、全国の医師、看護師の資格保有者を今回の危機対応に対して十分に活用できているかも検証する必要があります。

幣財団は、平時から所要の人材を確保し、災害対応を迅速確実に実施できる組織作り等を提案し実現するように関係各部に働きかけたいと考えています。

特に、災害の初動におけるヘリコプターやドローンの活用について研究し提案したいと考えています。

本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

一般財団法人災害支援財団 理事長 岩城 誠